

投票所等への移動支援等（H28参議選）

自治体名	支援内容	対象者	実施に対する経緯	実施結果
<p>岩手県宮古市</p> <p>面積(m²) 1,259.2</p> <p>名簿登録者数(人) 48,127</p> <p>投票所数 53</p> <p>期日前投票所数 4</p> <p>投票率(%) 56.55</p>	<p>当日投票所への送迎</p> <p>・無料送迎バス(市4台、民間5台)の運行</p> <p>・午前、午後各1便</p>	<p>新旧投票所間の距離が遠くなった地域の選挙人 (14投票所、約800人)</p>	<p>投票区再編により投票所が廃止され、新旧投票所間の距離が4km以上離れることになったため。</p>	<p>実施経費: 240,000円</p> <p>利用者数: 35人</p>
<p>長野県中野市</p> <p>面積(m²) 112.2</p> <p>名簿登録者数(人) 37,957</p> <p>投票所数 23</p> <p>期日前投票所数 12</p> <p>投票率(%) 59.34</p>	<p>当日投票所への送迎</p> <p>・投票日当日の公用車(10人乗り)を市職員が運転</p>	<p>旧投票所と新投票所までの距離(約5.4km)が遠くなった地域の選挙人</p>	<p>投票所の見直し(統廃合)を行い、35箇所から23箇所に減った。中でも、従来の投票所から統廃合後の投票所までの距離が、全区の中で最も遠い約5.4kmとなった地区から、移動支援の強い要望が寄せられたため。</p>	<p>実施経費: ほぼ0</p> <p>利用者数: 5人</p>
<p>兵庫県香美町</p> <p>面積(m²) 368.8</p> <p>名簿登録者数(人) 16,170</p> <p>投票所数 34</p> <p>期日前投票所数 3</p> <p>投票率(%) 67.53</p>	<p>当日投票所への送迎</p> <p>・借上中型バスの運行</p> <p>・1日3便(朝・昼・夕)</p>	<p>投票区の見直しにより、投票所が遠方となった2地区の有権者37名</p>	<p>投票区の統合に伴い、投票所までの距離が約5km離れる世帯が多くなったこと、当該投票区は高齢者が多く、車の運転ができない有権者も多くみられることから、投票機会を確保するため。</p>	<p>実施経費: 98,000円</p> <p>利用者数: 3人</p>

※「投票環境向上に向けた取組事例集」(平成29年3月 総務省)より抜粋

投票区数の変遷

年	門司区	小倉区		若松区	八幡区		戸畑区	合計
		小倉北区	小倉南区		八幡東区	八幡西区		
H元年	34	45	40	23	26	49	15	232
H2年	34	-1 44	40	+1 24	26	+1 50	15	233
H3年	34	44	40	24	26	50	15	233
H4年	34	44	40	24	26	+1 51	15	234
H5年	34	-1 43	40	24	26	51	15	233
H6年	34	43	+1 41	24	26	51	15	234
H7年	34	43	41	24	26	51	15	234
H8年	34	43	41	+1 25	26	51	15	235
H9年	-1 33	43	+1 42	25	26	51	15	235
H10年	-1 32	+1 44	42	25	26	51	15	235
H11年	32	+1 45	42	25	26	51	15	236
H12年	32	45	42	25	26	51	15	236
H13年	32	45	42	25	26	51	15	236
H14年	32	45	+1 43	25	26	51	15	237
H15年	32	45	43	25	26	51	15	237
H16年	32	45	43	25	26	+1 52	15	238
H17年	32	45	43	25	26	52	15	238
H18年	32	45	43	25	26	52	15	238
H19年	32	-1 44	43	25	26	52	15	237
H20年	32	44	43	25	26	52	15	237
H21年	32	44	43	25	26	52	15	237
H22年	32	44	43	25	26	52	15	237
H23年	32	44	43	25	26	52	15	237
H24年	32	44	+1 44	25	26	52	15	238
H25年	32	44	+1 45	+1 26	26	52	15	240
H26年	32	44	45	26	26	52	15	240
H27年	32	44	45	26	26	52	15	240
H28年	32	44	45	26	26	52	15	240

※ 投票区数は、年末現在。

高齢者・障害者の移動支援サービス

1 介護保険制度（訪問介護サービス）

（1）利用対象者

- ・要支援1以上の方で、ケアプランに盛り込まれている人

（2）費用

- ・目的地までの介助支援は介護保険が適用
- ・交通機関を利用した場合、利用者が実費を負担

2 シルバーひまわりサービス（社協）

（1）利用対象者

- ・65歳以上の在宅高齢者で、他の交通手段の利用が困難な人
- ・要介護認定による要支援、要介護1、2までの人
- ・会員登録が必要

（2）費用

- ・1回の利用につき500円（15km未満まで）

3 福祉有償運送（NPOなどの移動支援サービス：9団体）

（1）利用対象者

- ・要介護認定を受けた人
- ・会員登録が必要（入会金や年会費が必要：500円～12,000円）

（2）費用

- ・概ね500円程度（距離は3～4km）

4 重度障害者タクシー乗車運賃の助成

（1）利用対象者

- ・視覚障害、肢体不自由の下肢・体幹・移動機能障害及び内部障害で身体障害者手帳が1、2級の人 など

（2）費用

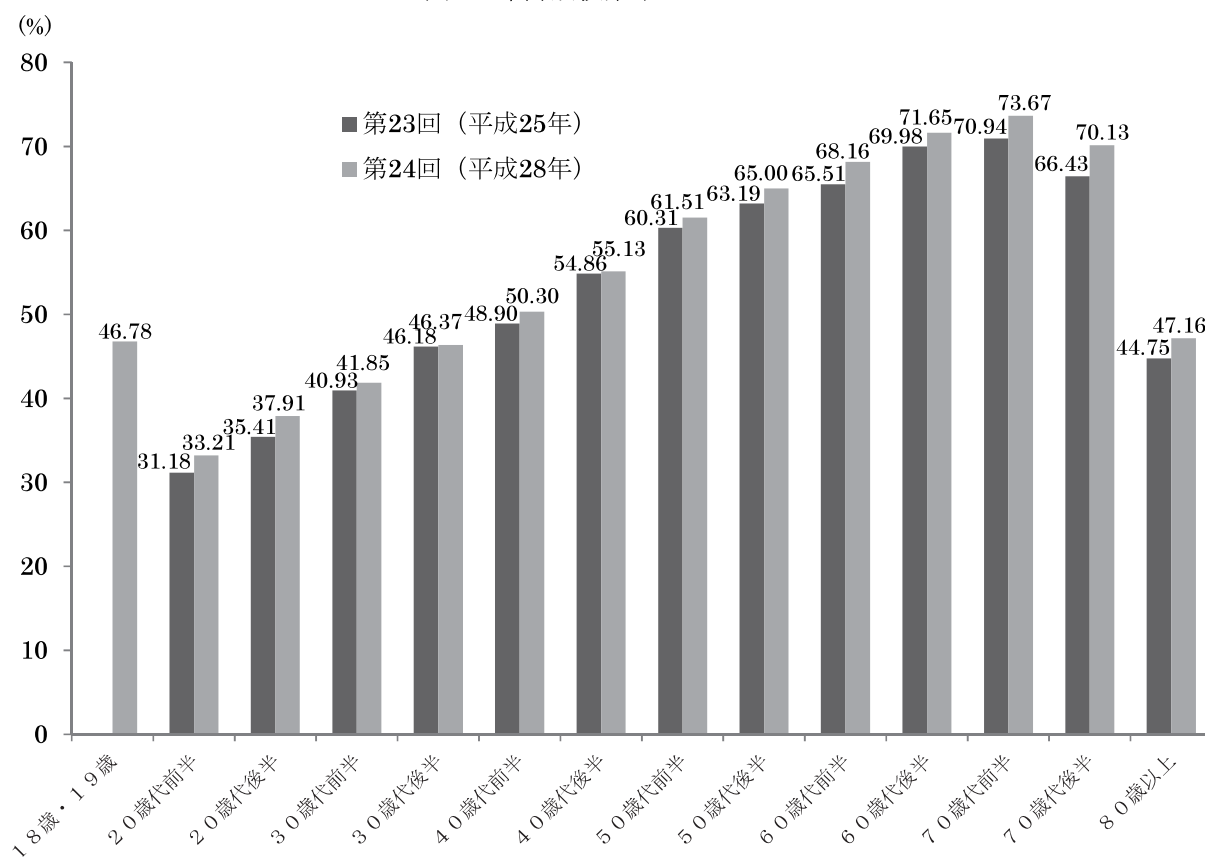
- ・1ヶ月4回まで、タクシー初乗運賃を助成

第24回参議院議員通常選挙全国意識調査(H29.3)【抜粋】

年齢別の投票率を見ると(図3)、今回の参院選で新たに有権者となった18歳・19歳の投票率は46.78%で、20歳代前半の33.21%より13.57ポイント高く、30歳代後半の46.37%を上回った¹。20歳代前半以降はこれまでと同じく年齢が上がるにつれて投票率が高くなる傾向となっている。今回、最も高かった70歳代前半の投票率は73.67%で、これは20歳代前半の2.2倍以上であった。

いずれの年齢も前回より高くなっているが、30歳代後半、40歳代後半は前回とほとんど大差はない(30歳代後半が0.19ポイント、40歳代後半が0.27ポイント高い)。

図3 年齢別投票率



¹ 総務省調査(全国的から標準的な投票率を示している投票区を抽出して集計)より作成、
但し、上記図3の18・19歳の投票率(46.78%)は全数調査による数値である(抽出調査では45.45%)。

3 棄権の理由

今回の参院選で投票を棄権した人（532）の棄権理由を前回調査の結果と対比して見てみよう（表3）。

今回最も多く選択されたのは、「選挙にあまり関心がなかったから」で、前回参院選の調査で首位だった「適当な候補者も政党もなかったから」を上回った。前回参院選と比較すると「選挙にあまり関心がなかったから」（19.0%→27.1%）を筆頭に、「仕事があったから」（17.7%→25.0%）、「政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから」（19.0%→24.6%）などが増加している。反対に、前回、棄権した人が最も選択した「適当な候補者も政党もなかったから」は26.4%から今回22.9%に低下した。

表3 棄権理由(複数回答)

(%)

	第24回	第23回
仕事があったから	②25.0	④17.7
重要な用事（仕事を除く）があったから	11.8	10.1
病気だったから	6.6	7.4
体調がすぐれなかったから	12.2	11.9
投票所が遠かったから	5.1	2.9
面倒だったから	14.8	11.8
選挙にあまり関心がなかったから	①27.1	②19.0
政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから	③24.6	②19.0
適当な候補者も政党もなかったから	④22.9	①26.4
私一人が投票してもしなくても同じだから	12.8	14.6
自分のように政治のことがわからない者は投票しない方がいいと思ったから	6.8	
選挙によって政治はよくなると思ったから	15.0	14.1
マスコミ（メディア）の当落事前予測調査を見て、投票に行く気がなくなったから	3.4	7.2
今の政治を変える必要がないと思ったから	0.9	0.5
今住んでいる所に選挙権がないから	4.9	1.3
天候が悪かったから（暑すぎた、雨だったなど）	1.3	1.6
その他	6.8	9.4
わからない	0.6	0.2

次に棄権理由の上位4つの選択肢について年代別に見てみる（図3-1）。

「選挙にあまり関心がなかったから」を選んだのは、18～20歳代に多く、年代が高くなるにつれて減少している。「仕事があったから」、「政党の政策や候補者の人物像など違いがよくわからなかったから」も同様の傾向にある。ただし、「適当な候補者も政党もなかったから」は、18～20歳代の14.3%から50～60歳代の30.7%まで年代が高まるごとに選択率も増加していく。